



**日本証券業協会**  
Japan Securities Dealers Association

# **S D G s 推進に向けた証券業界の取組み**

**2019年7月**  
**日本証券業協会**  
**S D G s 推進本部 S D G s 推進室**

# 1. 証券業界によるSDGs推進の取組み（全体像）

証券業界における  
SDGsの推進に関する懇談会  
(2017年9月設置)

貧困、飢餓をなくし  
地球環境を守る分科会

働き方改革そして  
女性活躍支援分科会

社会的弱者への  
教育支援に関する分科会

日本初!SDGsをテーマにしたレギュラー番組!

## フューチャーランナーズ

～17の未来～




SDGs 世界を変えるための17の目標

地域に密着した循環型社会を

SDGs ミニ番組の提供 (フジテレビ 水曜よる22:54~)




SDGsに貢献する金融商品に関する  
役職員向けガイドブック



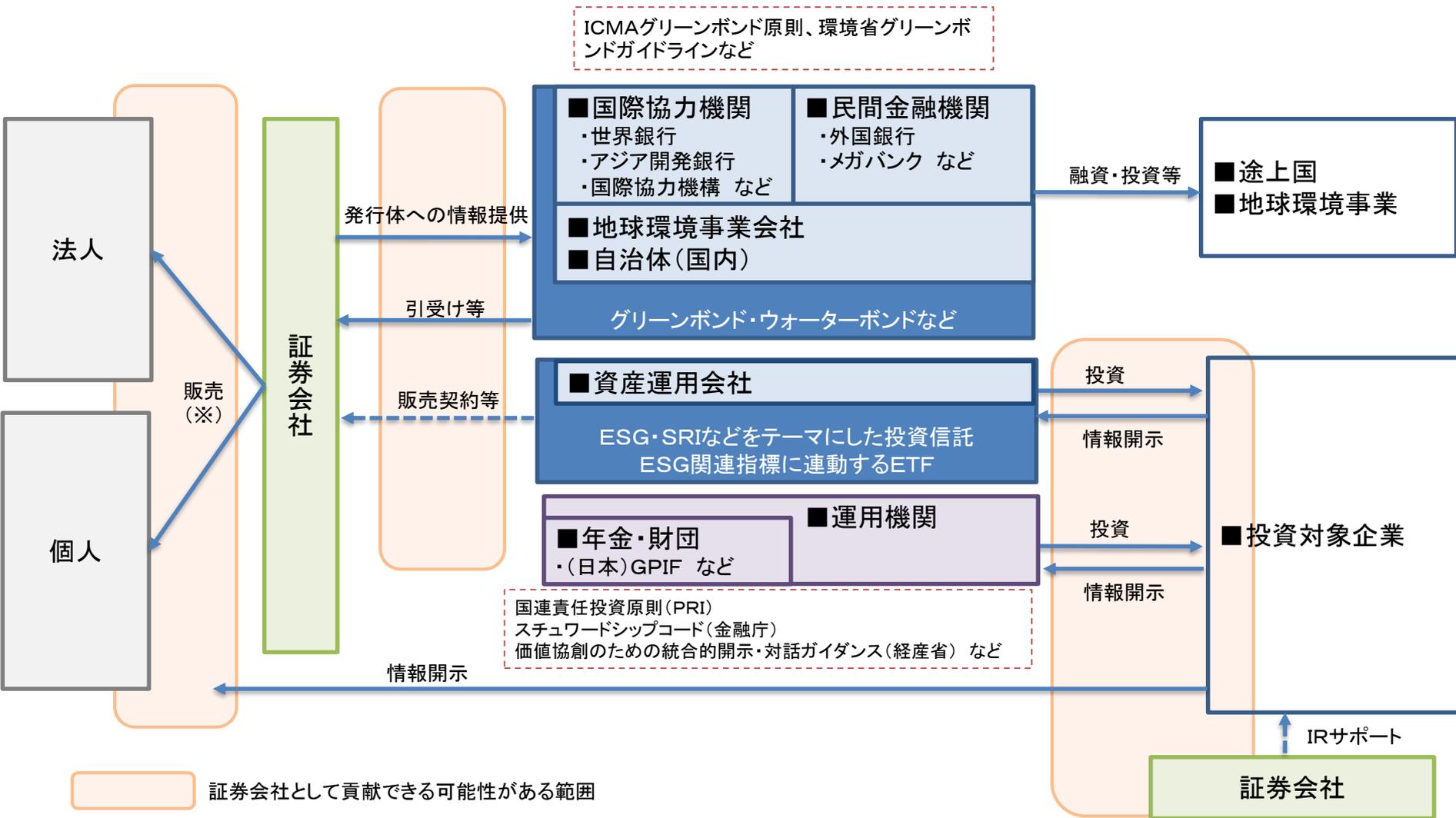

働き方改革  
事例集

証券 Women's Network、働き方改革事例集



こどものみらい  
古本募金への参画

# 2. 社会的課題解決に向けた証券会社の取組みと役割

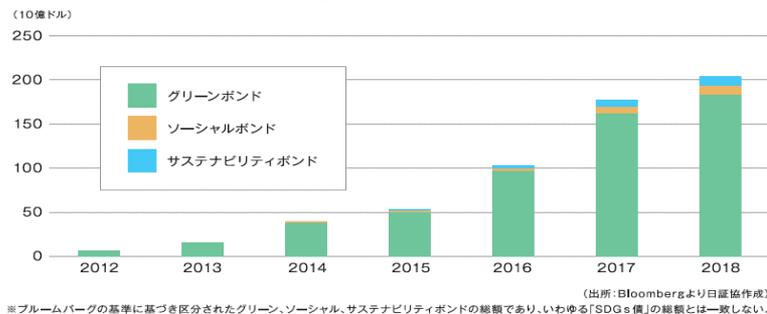


(※) 委託売買、募集・売出しの取扱いを含む。

# 3. SDGsに貢献する金融商品（SDGs債）の現状

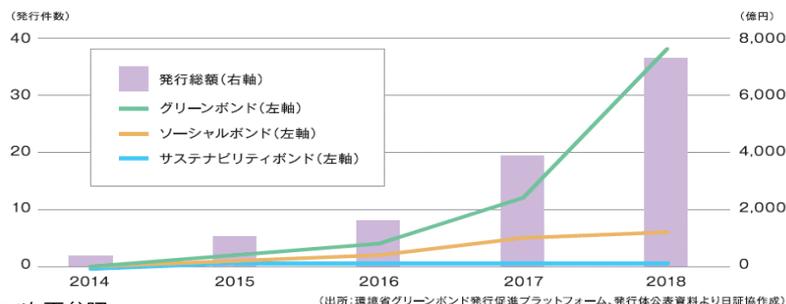
- ・投資家は、SDGs関連事業へ資金が充当される金融商品への投資を通じて、SDGsへの貢献が可能。
  - ・グリーン、ソーシャルボンドなどのSDGsに貢献する債券は、近年、発行数・発行額が増加傾向にある。
  - ・そのほか、環境や社会などのテーマに沿って投資対象を選定する投資信託の販売等を通じて、証券会社は環境・社会的課題に関心を持つ投資家へ対応。
- ⇒しかしながら、環境・社会的課題の解決にはより多くの資金が必要であるほか、我が国の経済規模等からすると グリーンボンド等を含むサステナブルファイナンスは海外に比較して小規模にとどまる。

【図表1】世界におけるグリーン、ソーシャル、サステナビリティボンド発行額の推移（暦年）



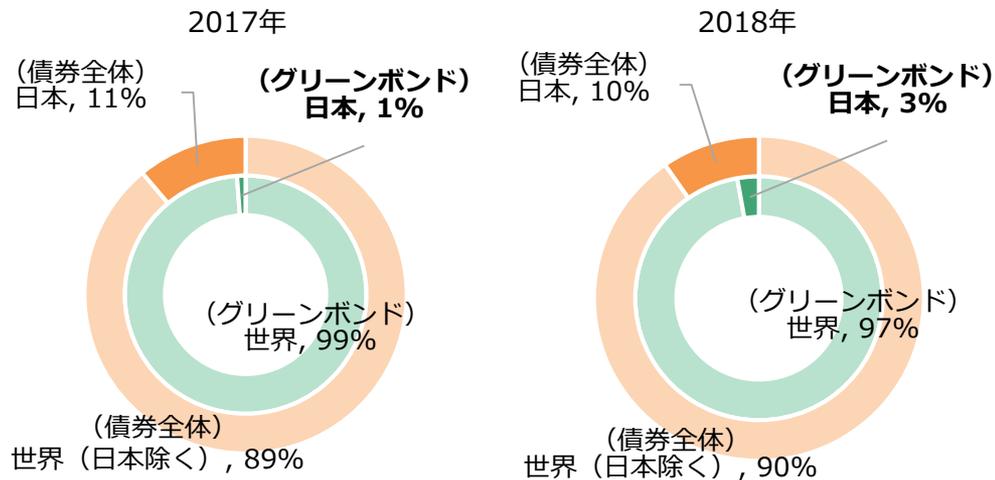
※ブルームバークの基準に基づき区分されたグリーン、ソーシャル、サステナビリティボンドの総額であり、いわゆる「SDGs債」の総額とは一致しない。

【図表2】本邦発行体によるSDGs債※発行実績



※次頁参照

【図表3】世界と日本のグリーンボンド発行額の比較



# 4. SDGsに貢献する金融商品市場拡大に向けた方策

## 1. 呼称の統一

◆SDGsに貢献する債券について、証券業界としての統一呼称として「**SDGs債**」を用いる。

① 呼称統一の対象⇒「債券」

➢資金使途が明確又は限定可能であり、SDGsへ貢献するものを特定しやすい

② 呼称における「SDGs」の使用

➢証券会社役職員や顧客におけるSDGsの認知度向上に資する

➢SDGs関心層（投資未経験層を含む）による投資促進を期待

➢ひいては投資家層、発行体層の拡大につなげる

## 2. ガイドブックの作成（役職員、一般向けの普及・啓発施策）

◆SDGsに貢献する金融商品の普及、推進には、まずは証券会社の役職員自身が、それら金融商品の概要、意義について理解を深める必要がある。

◆証券会社の役職員や投資家の認知度向上を目的として、「**SDGsに貢献する金融商品に関するガイドブック**」を作成

## 3. 経済的メリット、インセンティブの付与

◆SDGsに貢献する債券は、発行体、投資家双方の経済的メリットがない点が課題。

◆「税制措置」、「リスク・ウェイト」の観点から長期的な検討・情報発信が必要。

## 4. 評価体系の確立（ESG評価／指数）

◆ESG評価、指数組成は、ESG関連市場の拡大、投資家流入に資する。

◆証券会社・業界として、ESG格付や評価等の定義に関する正確な理解の促進やESG指数に係る投資家への情報発信などに取組むことが重要。

## 5. 投資家行動の在り方

◆機関投資家がESG投資に関する方針を明確化することは企業の取組みを促す。

◆証券会社には個人投資家とのチャネルを活用した普及・啓発が期待される。

## 6. 発行会社による情報開示

◆SDGsに貢献する金融商品への投資促進には企業によるESG情報開示が重要。

◆2019年2月、日証協として**TCFD提言への賛同**を表明。

# 5. 「SDGs債」への呼称統一について

投資対象ベースでの関連

イメージ

## SRI (社会的責任投資)



倫理的な排除

## ESG投資

- ・インテグレーション
- ・ポジティブスクリーニング
- ・議決権行使/エンゲージメント
- ・ネガティブスクリーニング

**E**



**S**



**G**



・ ESG債 ≡ SRI債 ≡ 社会貢献型債 ≡ テーマ債 (への投資)

・ グリーンボンド



・ ソーシャルボンド (ウォーターボンド、ワクチン債、EYEボンド等)



ソーシャル  
インパクト  
ボンド

ESGファンド ≡ SRIファンド ≡ 社会貢献ファンド ≡ テーマ型ファンド (への投資)

インパクト・  
インベストメント

SDGs債の範囲・・・SDGsの中でも環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、

- 一般的にスタンダードとして認められている原則 (ICMA原則等) に沿った債券、
- 事業全体がSDGsに貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト (改善効果) に関する情報開示が適切になされている債券、

が含まれる

# 6. 統一呼称「SDGs債」に関する考え方

## 呼称の範囲（商品）について

- ◆ 債券（資金用途指定債券）をターゲットに、「SDGs債」と呼称する
  - ✓ 資金用途が明確又は限定可能であり、SDGsへ貢献するものを特定しやすい
  - ✓ 証券業界における検討で迅速に対応可能

## 「SDGs」を用いる理由、目的

- ◆ SDGsは幅広い課題の解決に向けた包括的概念
- ◆ 統一呼称の対象であるグリーンボンド、ソーシャルボンド等はSDGsのいずれかの目標に資する
- ◆ 今後、新たな種類のプロジェクトに係る債券の発行にも対応可能と考えられる
- ◆ 証券会社の役職員のSDGs自体の認知度・理解度の向上に資する
- ◆ 証券会社の顧客（個人、企業等）のSDGs自体の認知度向上にもつながる
- ◆ 本分科会は、証券業を通じたSDGsへの貢献を目的とする
- ◆ 一般社会におけるSDGsの認知度向上に伴って、SDGsに関心のある層（投資未経験層を含む）による投資促進につながる
  - ⇒投資家層の拡大
  - ⇒発行体の拡大

## 目的

1. 証券会社の**役職員**におけるSDGsに貢献する金融商品(投資)の認知度・理解度の向上
2. **顧客(投資家、企業等)**への普及を通じたSDGsに貢献する金融商品市場の拡大
3. 一般社会への浸透により、**投資未経験のSDGs関心層**の投資行動を促進する

## 内容

- SDGsとは
- SDGsと証券業界:SDGsと「投資」の関係、証券業界の機能
- SDGsに貢献する金融商品の概要(歴史等)
- 「SDGs債」について
  - ープロジェクト例
  - ーケース紹介
  - ー発行の推移



## ➤ 開催概要

日程	2019年10月9日(水)9時30分～18時(予定)
セミナー名	グリーンボンド、ソーシャルボンド及びサステナビリティボンド市場の発展
会場	ホテル ニューオータニ
主催	日本証券業協会
共催	国際資本市場協会(ICMA)※
参加者	日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、(機関)投資家、その他の関係機関、報道機関等 500～600名程度を想定

※ICMAは欧州を中心に世界約60カ国500の金融機関が加盟する国際団体。本拠地はチューリヒ及びロンドン。スイス及び英国当局から自主規制機関と認められている。本協会との間で2008年1月、相互協力に関する覚書(MoU)を締結し、2008年、2013年、2015年及び2017年に日本証券サミット(いずれもロンドンで開催)共催した。また、2017年には東京でアジア域内初のグリーンボンドセミナーを共催した(日証協主催)。

# 【参考1】グリーンボンドセミナー2018 【開催概要】

日程	2018年12月11日（火）9:30～17:05
セミナー名	グリーンボンド及びソーシャルボンド市場の発展－アジアの展望
会場	ホテルニューオータニ 鶴の間
主催	国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association） 日本証券業協会
参加者	日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等 約550名（昨年比約40%増）



http://www.jsda.or.jp/about/torikumi/sdgs/index.html

HOME | 日証協について | 日証協の取組み | 証券業界におけるSDGs推進のための取組み

## 証券業界におけるSDGs推進のための取組み

### はじめに

国連は「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択し、先進国を含む国際社会全体の持続可能な開発目標（SDGs）として、2030年を期限とする17の目標と169のターゲットを定め、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処するための取組みを進めています。日本証券業協会としても、SDGsの達成に向けた取組みを本協会の重要課題と位置付け、「SDGs宣言」の下、積極的に取り組んでまいります。

- 証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会等の検討状況（2017年9月設置）
- SDGs宣言（2018年3月22日公表） / Declaration in Support of SDGs（March 22, 2018）
- SDGs推進に関する日証協の取組みについて（2019年4月更新）

### 新着情報

- 2019年6月6日 [SDGsと資本市場に関するシンポジウム（7月9日 於 東京）を開催します](#)
- 2019年5月24日 [ソーシャルボンド（SDGs債）の購入について](#)
- 2019年4月25日 [「SDGsに貢献する金融商品に関するガイドブック」を公表しました](#)
- 2019年4月16日 [2019年度の株主優待SDGs基金の支援先について](#)

### 報告書・事例集・ガイドブック

- 「貧困、飢餓をなくし地球環境を守る分科会」第一次報告書（概要はこちら）（2019年3月29日公表）
  - 「SDGsに貢献する金融商品に関するガイドブック」（2019年4月25日公表）
- 「働き方改革そして女性活躍支援分科会」第一次報告書（概要はこちら）（2019年3月29日公表）
  - 「証券業界における働き方改革に関する事例集」（2019年3月29日公表）
- 「社会的弱者への教育支援に関する分科会」報告書（概要はこちら）（2018年6月19日公表）

### 各種取組み・プレスリリース

- SDGsと資本市場に関するシンポジウム（7月9日 於 東京）を開催します（2019年6月6日）
- ソーシャルボンド（SDGs債）の購入について（2019年5月24日）
- 2019年度の株主優待SDGs基金の支援先について（2019年4月16日）
- 「証券 Women's Network」を開催いたしました（2019年3月29日）
- 「管理職向けセミナー」を開催いたしました（2019年3月29日）
- 株主優待SDGs基金の設置について（2019年3月20日）

日本証券業協会 SDGs

検索